

世田谷区立瀬田小学校
学校関係者評価委員会 様

世田谷区立瀬田小学校
校長 日高 玲子

自己評価報告書

梅花の候、皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校の令和元年度の教育活動に関する自己評価報告書を提出いたします。御高覧を賜り、御指導・御助言をいただければ幸いです。

なお、本報告書は、世田谷区教育委員会平成20年度版「世田谷区立学校 学校評価システム」に基づいて作成しています。

1 学校概要

- (1) 学校長名 日高 玲子
- (2) 学級数 27 学級
- (3) 児童数 759 名 (令和7年3月1日現在)

2 本校の目標及び計画

(1) 教育目標

人間尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたり自己を高める児童の生きる力の育成を目指す。

- 思いやりのある子 …… 自他を敬愛し、人の喜びや悲しみに共感できる子ども
- よく考える子 …… 確かな学力を身に付け、深く考え、正しく判断し、表現できる子ども
- 進んでする子 …… 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、自ら進んで学ぶ子ども
- 元気な子 …… 生命を大切にし、進んで心と体を鍛える子ども

(2) 教育目標及び重点目標を達成するための基本方針

- 社会の中でよりよく生きてくための能力を育むキャリア教育の充実
- 課題解決的な学習の展開（せたがや探究的な学び）に向けた授業改善
- 教育活動全体を通じた人権尊重の精神に基づく人権教育の推進
- 個性や能力、発達特性等の多様性を理解し、個々の教育的ニーズに応じた教育の充実
- 生涯の学びを支える非認知能力の育成
- 不登校の未然防止や多様な学びの機会の提供
- いじめの予防や早期発見・対応、解決に向けた対応

(3) 中期的な学校経営方針

- 地域とともに子どもを育てる教育
学校運営委員会や学校支援地域本部を中核にして、学校目標を保護者や地域と共有しながら学校教育を進めていく。
- これからの社会を生き抜く力の育成
社会の状況を幅広く視野に入れ、社会に開かれた教育課程を推進するために、学校教育活動全体を通して国語力の向上を図り、「ことばの力」の育成に取り組む。

(4) 今年度の重点目標

- 重点目標1 他者を思いやりながら、自身の自尊感情や自己肯定感を高める児童の育成
 - 数値による指標
他者の考えや気持ちを受入れ、思いやることができることを実践できる児童の割合75%以上
 - 具現化のために方策等
 - ・ 『おもいやり5か条』については、学校関係者評価で良好な結果を得ており、実践をしていく土壌ができています。校内研究での組織の一つとして学級経営部を創設し、学級経営に

関わる実践を行う。

- ・なかよし班での縦割り活動によって、活動する楽しさを体感させ、学年問わず仲良く助け合う態度を育成する。
- ・学校関係者評価にて評価及び検証を行う。

重点目標2 学び合い、高め合う児童の育成

○ 数値による指標

「友達と意見を交換したり、考えを聞いたりすることで、自分の考えを広げることができている」と感じている児童の割合 80%以上

○ 具現化のために方策等

- ・校内研究の取組として、支持的学級風土の醸成のもと、授業実践により思いやりの心を育み、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業の工夫を行っていく。
- ・一人一台学習端末の有効活用や少人数での話し合いを授業に取り入れ、対話的な学びが生まれる授業の工夫を行っていく。
- ・学校関係者評価にて評価及び検証を行う。

重点目標3 体育授業や外遊びを通して、体力を養う児童の育成

○ 数値による指標

「体力が伸びている」と感じている児童と保護者の割合 75%以上

○ 具現化のために方策等

- ・児童を対象にした学校関係者評価では「体育の授業や休み時間での活動を通して、私は体力が伸びている」が低かったことから、オリンピック・パラリンピック教育を継続し、スポーツの魅力や運動する楽しさを実感させる。また、体育や休み時間を活用し、体力づくりへの意欲を高めていく。
- ・学校全体での体育的活動の取組として、縄とびや中休みのダンスなど場所を取らずに取り組める、体力づくりの意欲を高める。
- ・学校関係者評価にて評価及び検証を行う。

3 重点目標の評価

〔以下、表での数字は、肯定的な回答である「A」「B」の割合である。
また、()内は令和6年度の肯定的な回答の割合である〕

(1) 自尊感情や自己肯定感を高め、思いやりのある児童の育成

[児童]

私は、学校のきまりを守って、行動している。	80.3(77.6)%
先生に注意されたことは、理解できる。	85.7(81.9)%
命を大切にし、安全に気を付けて生活している。	88.9(89.7)%
やさしい心で、相手の気持ちを考えて生活している。	78.3(83.8)%
自分自身を大切にしている。	82.5(78.1)%

[保護者]

本校は学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	74.6(64.7)%
本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	78.6(75.6)%

[地域]

本校の子供たちは、返事やあいさつができる。	71.4(75.0)%
-----------------------	-------------

今年度は、多くの項目で昨年度を上回り、特に自尊感情や注意理解の向上が顕著であった。一方、思いやりや地域からの挨拶の評価は低下しており、継続的な指導と地域連携の強化が課題として示された。

(2) 学び合い、高め合う児童の育成

[児童]

授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	95.4(92.0)%
先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	88.9(84.8)%

児童の話し合い活動の充実度は昨年度より向上し、ICT を活用した授業理解も大きく伸びている。主体的に学ぶ姿勢が定着しつつある一方、学び合いの質をさらに高めるためには、対話の深まりや協働的な課題解決の機会を継続的に保障する必要がある。

(3) 体育授業や外遊びを通して、体力を養う児童の育成

[保護者]

子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	72.4(53.0)%
---------------------------	-------------

体力向上への取り組みは、昨年度から大幅に改善しており、健康意識の高まりがうかがえる。瀬田中学校の校庭での朝遊び、昼遊び、ミニ校庭の使用による影響が大きい。

4 地域とともに子どもを育てる教育の評価

(1) 保護者・地域連携等

[保護者]

本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている。	80.5(70.3)%
本校は、地域の活動などに協力的である。	82.2(72.3)%
本校は、地域に情報を提供している。	68.9(53.1)%
私は、学校公開にすすんで参加している。	87.3(92.6)%
私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。	58.6(63.6)%
私は、今年度の学校重点目標を理解している。	48.7(39.9)%
「多摩川の学び舎」について、連携や交流活動が行われている。	68.1(47.1)%

[地域]

地域の人や施設を教育活動に活かしている。	90.5(91.7)%
学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	57.1(58.3)%
学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	71.5(70.8)%

今年度は、保護者からの評価が全体的に上昇し、特に情報提供や行事周知の面で改善している。学校の取り組みが伝わりやすくなり、理解と協力が広がっていると考えられる。一方で、地域参画の継続的な促進や双方向の関係づくりが、今後の課題である。

(2) 広報活動・情報提供

[保護者]

本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	89.2(84.9)%
本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	93.0(92.0)%
本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	87.6(94.8)%
本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	80.5(66.6)%
「多摩川の学び舎」の活動について、情報が提供されている。	65.9(48.9)%

[地域]

学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	95.2(95.8)%
学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	80.9(83.4)%
学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	85.7(75.0)%
「多摩川の学び舎」の活動について、情報が提供されている。	71.5(62.5)%

主体的な活動や情報提供に関する項目は、全体的に昨年度より大きく改善している。特に「情報提供の充実」や「学校の取組の理解」に関する数値が10ポイント前後伸びており、保護者・地域への発信が分かりやすくなったと考えられる。一方で、伸びが緩やかな項目もあり、継続的な対話と共有の工夫が求められる。

5 未来を担う子どもを育てる教育の評価

(1) 教育課程

[児童]

先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	83.3(82.2)%
先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	92.2(87.9)%
自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	87.5(53.1)%
目標をもち、その実現に向けて努力している。	80.0(73.5)%
区立中学校に関する情報が提供されている。	53.9(34.1)%
学校行事は、楽しい。	91.5(83.8)%
学校行事は、達成感がある。	88.6(82.9)%
先生は、児童の意欲を大切にしている。	85.3(78.4)%

[保護者]

本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行なっている。	75.7(72.6)%
本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	68.1(64.9)%
本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	79.8(80.7)%
本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	75.6(75.6)%
本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	58.1(37.6)%
本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	48.4(48.1)%
学校行事は、子どもにとって楽しい。	95.7(94.7)%
学校行事は、子どもにとって達成感がある。	95.1(89.8)%
本校は、子どもの意欲を大切にしている。	88.9(79.7)%

[地域]

学校行事の内容は充実している。	85.8(100)%
事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	85.7(91.7)%

多くの項目で昨年度を上回り、特に「安心して通える」、「学ぶ意欲が育っている」なお、学校への信頼や教育の質に関する評価が向上している。保護者・地域との協働や日々の丁寧な教育活動が評価につながったと考えられる。一方で、伸び幅が小さい項目もあり、継続的な改善が必要である。

6 信頼と誇りのもてる学校づくりの評価

(1) 学校経営・学校運営

[児童]

先生たちは、ていねいに指導してくれる。	88.9(90.5)%
学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	71.7(81.1)%
先生たちに、相談できる。	69.3(65.5)%

[保護者]

本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	80.5(66.6)%
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	87.3(80.3)%

[地域]

学校の重点目標が明確である。	90.5(91.7)%
地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	76.2(87.5)%

事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	85.7(91.7)%
--------------------------	-------------

児童・保護者・地域のいずれの支店でも、概ね高い評価が維持されているが、地域の「説明・対応」や児童の「きまりの指導」など、一部で昨年度は下回っている。一方で保護者の学校目標の理解や教職員の協力体制は大きく向上しており、学校全体の組織的な取組が強化されたことがうかがえる。

7 教育環境の整備の評価

(1) 学校経営・学校運営

[保護者]

本校は、避難訓練やセーフティー教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	92.7(89.4)%
本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	81.0(76.9)%
本校は、安全な学校づくりを進めている。	89.4(78.1)%

[地域]

学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	90.5(100)%
学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	90.5(91.6)%

安全指導は、昨年度と同水準で高い評価を維持している。一方、自然災害対応の体制は大きく向上した。今後も学校の危機管理の強化を図っていく。安全を確保した学校づくりでは、地域の評価が昨年度をやや下回った。今後も丁寧な取組と説明を行っていく。

8 その他

(1) 学校全般

[児童]

学校生活は楽しい。	86.4(83.8)%
学校が好き。	76.4(70.4)%
私は、家庭で宿題やe-ラーニングでの学習をしている。	60.7(67.8)%
私は、塾で学習している。	73.9(72.7)%
「多摩川の学び舎」の瀬田中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	70.4(55.7)%

[保護者]

本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	89.5(84.5)%
本校は、ていねいに指導している。	87.8(80.5)%
本校の教育活動に満足している。	78.1(72.6)%
本校は、子どものことを相談しやすい。	77.5(71.5)%
子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	68.6(61.4)%

児童の「学校」・授業が楽しいは、昨年度より低下しており学校生活の充実に課題が見られるが、学び舎の取組については、大きな伸びている。保護者のアンケートでは、全てにおいて肯定的な回答が昨年度を上回った。今後も児童にとっての学校が楽しく、居心地のよい生活となるために組織的な教育相談支援体制の充実に最大の努力をしていく。

(2) 独自項目

[児童]

自分からすすんで挨拶ができる。	72.5(77.7)%
私は、瀬田小「おもいやり5か条」を意識している。	64.0%(-)

[保護者]

自分の子どもは、返事や挨拶ができるようになってきている。	80.3(75.6)%
自分の子どもは、他者の気持ちを考えて行動している。	84.9(82.6)%
自分の子どもは、授業に集中して主体的に学んでいる。	69.7(61.8)%
自分の子どもは、瀬田小「おもいやり5か条」を意識している。	45.7%(-)

[地域]

私も児童によく挨拶をしている。	80.9(79.2)%
本校では、児童が授業に集中して主体的に学んでいる。	80.9(87.5)%
本校の児童は、地域行事や地域の人とのかかわりを大切にしている。	80.9(95.8)%

今年度、児童・保護者に対するアンケートでは、「思いやり5か条」の意識についての回答が比較的低い数値となった。教育目標の具現化に向け、今後も丁寧な取組、説明を行う必要がある。その他の項目について保護者の評価は、昨年度を上回っている一方で、地域の評価は下回っている。児童の姿が十分に伝わっていない可能性がある。学校として、活動の見える化を進めることが課題である。

昨年度の保護者アンケート回収率が児童93%・保護者65%・地域80%であったのに対し、今年度は、児童90%・保護者48%・地域38%でした。アンケートの実施・回収について、昨年度から学校だよりやすぐーるでお知らせするとともに、リマインドを複数回行ってまいりましたが、思いのほか実施・回収率が伸びませんでした。学校評価アンケートの内容、周知の方法について、改善の余地があると反省しております。

自由意見の記述式については、忌憚のないご意見、温かい励ましやお褒めの言葉をたくさんいただき、感謝いたします。全て真摯に受けとめ、次年度の教育活動の改善に生かしてまいります。

なお、来年度より、学校関係者評価の仕組みが変わります。これまで長きにわたり、学校関係者評価委員として携わってこられた皆様に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。